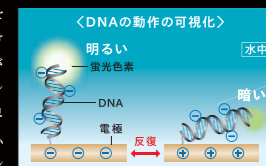


揺れのリズムが変わるとき、  
病気のサインをつかむとき。



人体には、数万種類のタンパク質が存在し、それぞれ重要な働きをしています。近年、ガンや糖尿病などの目印となるタンパク質を見つけ出す研究が盛んに行われていますが、その検出には複数の工程が必要のため多大な時間とコストがかかっていました。富士通は、ミュンヘン工科大学と共同でDNAを利用してタンパク質を発見する、世界初のバイオセンサー技術を開発しました。水中でDNAを一定のリズムで揺らし、その動きを可視化。DNAの先端に病気の目印となるタンパク質が結合するとDNAの揺れのリズムが遅くなるため、病気の発見につながるのです。従来の100分の1の時間で、タンパク質を迅速かつ高精度に検出することが可能に。富士通は、この技術をガンや感染症などの早期発見や最適な治療に役立てることで、誰もが健康で安心して暮らせる豊かな社会づくりに貢献していきます。



[ 富士通のDNAバイオセンサー技術 ]

shaping tomorrow with you